

平成27年度広島県指導農業士会研修会報告

平成27年8月18日、サテライトキャンパスひろしま（広島県民文化センター：広島市中区大手町）において、指導農業士21名と関係機関の担当者ら17名が出席して、農地中間管理事業を活用した担い手育成や新規就農希望者を研修生として受入れる場合の対応についての研修会を行いました。



開会あいさつ 阿部会長



来賓あいさつ
広島県農林水産局長 寶来様

○研修1「農地中間管理事業を活用した担い手育成」

広島県から「農地中間管理機構」の指定を受けている、一般財団法人広島県森林整備・農業振興財団の月岡繁彦（つきおかしげひこ）様から、農地中間管理事業とはどのようなものか、といった基礎的なことから、実際のマッチングまでの流れ等について、説明していただきました。



月岡講師



資料をみながら熱心に話を聞く指導
農業士の方々

○研修2「研修生受入れで活用可能な補助事業」

広島県農林水産局就農支援課の藤井俊二様から、本県の就農状況や「青年就農給付金」、「農の雇用事業」、「青年等就農計画制度」等の各種制度について、説明していただきました。質問も活発に出され、新規就農者の支援について、関心の高さが伺えました。



藤井講師



熱心に話を聞く指導農業士の方々

○研修3「研修生に対する労働安全衛生と保険」

JA 広島中央会広島県 JA 営農支援センターの大野高広様から、農作業事故の発生状況や事故防止対策及びリスクに備えるための保険について、説明していただきました。保険については、「研修生自身が入る」と「研修受入れ農家が入る」ものがあること等、基礎的なことから話をしていただきました。これについても活発に質問が出されましたが、個々の事情によって違いが出る場合があるため、具体的なことは、JA へお問い合わせいただくこととしました。



パワーポイントを使って説明する大野講師

○事例発表 「私の担い手育成事例紹介」

本会会長の阿部農園阿部雅昭氏と農事組合法人世羅幸水農園組合長の原田修氏が事例発表を行いました。

阿部氏は、自分の園地で取り組んでいる品種改良とジョイント仕立て栽培や雨除け栽培等の栽培状況、並びに、小学校と連携した担い手育成について話されました。

原田氏は、組合員の子弟が喜んで農園に就農できるように、労働環境の改善に取り組んでいることや農園に親しみを持ってもらうためのふれあい行事の実施、また、奨学制度を設けて研修を行っていること等を話されました。また、近年は、組合員の子弟のみならず、農業技術大学の卒業生等、やる気のある人を採用していることなどを話されました。

事例発表後、担い手育成について、活発な意見交換が行われました。



事例発表する阿部氏



事例発表する原田氏



質問に答える原田氏



司会 有田理事

○講演「研修受入れ農家に望むこと」

県立農業技術大学校の國西修司校長先生から、最初に農業技術大学校の進路状況等について説明していただきました。その後、農家研修の時には、「農業は、厳しさの中にも、喜び・楽しみがあること」、「農業に関する哲学や経営理念」を話してほしいと話されました。



國西修司校長先生

○閉会

閉会あいさつは島津副会長が行いました。「参加者が思っていたよりも少なく残念。アンケートをもとに会員の皆様が参加したくなるような研修会を行っていきたい」と話されました。研修会終了後、懇親会を行い、会員同士また関係機関の方々と交流を深めました。



閉会あいさつ 島津副会長

(文責：事務局 宮脇)